2026/10/07　宇宙よりも遠い場所

今回は**「宇宙よりも遠い場所」**というテーマでご発表いただきました！
発表者さんは，第 66 次南極地域観測隊の研究員として約 15 ヶ月の間，南極の昭和基地に滞在されたそうです🚢





👈発表者さんが撮影したアデリーペンギンです🐧
仲間だと思って人間に近づいてくるそうです！

南極極地観測隊には研究員のほかにも，機械・通信・調理・医療など様々な専門分野の人々が参加しており，過酷な状況下でお互いの暮らしを支え合う様子が印象的でした。
南極での生活は「自分にとって本当に必要なものは何か」を考える機会になったようです。

参加者にとっても，日常の価値観を振り返る大変貴重な機会となりました✨
発表者さん，素敵な発表をありがとうございました！

★★次回以降のコレクション自慢の会★★

2026/10/21（水）16:30～18:00
テーマ：フリートーク

2026/11/3（火）@京都 百万遍知恩寺
古書市へのお出かけ

★お楽しみに★

☆今回の発表に興味を持たれた方や，もっと詳しく知りたい方はぜひこちらの施設や資料もチェックしてみてください！発表者さんが実際に参考にされたり，おすすめしてくださったりしたスポットです。

【国立極地研究所 HP】

・南極観測の広報用資料（https://www.nipr.ac.jp/antarctic/outreach/）

・発表者さんが参加した観測隊ブログのアーカイブ（https://nipr-blog.nipr.ac.jp/jare/jare66/）

・極 | 極地研のウェブマガジン（ https://kyoku.nipr.ac.jp/ ）
→南極観測隊の運営をしている国立極地研究所の広報用資料がかなり充実しています。

【発表者さんが実際に行った、南極観測について展示がある施設】

・国立極地研究所 南極・北極科学館（https://www.nipr.ac.jp/science-museum/）
東京・立川にある，国立極地研究所の隣にある広報展示の建物です。入館無料ですが，展示が充実しています。例年９月末頃に開催される極地研の一般公開に合わせていくのがおすすめとのことです。

・名古屋港ガーデンふ頭 南極観測船ふじ（https://nagoyaaqua.jp/garden-pier/fuji/）
名古屋港水族館の隣にある，２代目南極観測船として使用された船です（現役の船は４代目）。名古屋港水族館から過去に南極観測隊として派遣された方もおり，水族館の企画展示で南極でとってきた生物が見られることもあるそうです！

・南極観測船「宗谷」（https://funenokagakukan.or.jp/soya）
東京・お台場の近くにある，日本初の南極観測船として使用された船です（南極物語で登場する船）。現役の観測船と比べるとかなり小さいそうです。

・白瀬南極探検隊記念館（https://shirase-kinenkan.jp/）
秋田にある，日本が昭和基地で南極観測を始めるはるか前の明治末期（誰が人類初の南極点到達を達成するかと競争されていた時代）に日本人で初めて南極探検に挑んだ方の記念館です。現在の南極観測とは事情がかなり違いますが，展示は面白いとのことです。